

美郷町在京六郷会初回到らせて

美郷町在京六郷会 会長 石川 明美

ゆかりのある方々の支えによって在京六郷会も年を重ね、二十二周年は盛會を極めて参りました。

文化の形容も変化をなし、「平成維新」という構造改革の必要性は「三位一体」(父・子・聖霊)論より、その一つとして「市町村合併」、行政の地方分権、行政機構の省力化、自立自活を求めざるべきとなり、その合併促進には、財政的給と鞭より誘導され、改革の断行にふるさと六郷町は隣接の千畑町・仙南村との三町村合併を県の一番乗りとし、「美郷町」という美名を冠名され、機構の発進されたことに、只々在郷主権者の総意に基づくものとして尊重するもので、初心に従ってその成果繁栄を祈念するものであります。

事に及んで、首長にとつては束ねてゆく事には多難の技であるが、離れている者の推することとて、原点もとを糾するならば、同一地域気候風土も等しく、永い年月には人力依存の生活行動範囲の中で、人的繋がり町村の堰き止めに罹らず、何らかの血脈が濃厚である事、縁戚で居住されている事であり、風習・慣習・文化等も同化共有する事より、その特性パーソナリティーにも共通するものであろう。とは言え確かに異なつた集合体の結合には、当初は必要以上の自己意識が強く、抵抗感が存在する事も自然である。短兵急を求め合うものでなく、寛容を以って涵養すべきものでしょう。

在京六郷会に於いて三町村の在京会

も美郷町の町立の主旨に基づき、歩調を合わせ共調すべき緩やかな融合を目標、念頭に在京会と町との乖離を招かない努力が必要であらう。より一層の美郷町との交流を促進すべき事が肝要であらう。情報の収集消息、連絡網をふるさと美郷町を拠点として発足する必要性が生じている事。互いの交流にはすべからず活性化に通ずるもので広範囲による人脈を通じ、美郷町と相呼応して進めたいもので、行政の一旦としてふるさとを後にした者共との結合、絆の強固なものへと、積極的に共存共栄を希いつつ、首長の手腕・力量・熱意を期待するものです。

ありがとう六郷町 はばたけ美郷町

第23回美郷町在郷六郷会 総会・懇親会のご案内

日時 ● 9月4日(日)
会場 ● 高輪プリンスホテル
(東京都港区高輪3-13-1)
交通 ● JR線、京浜急行 品川駅から徒歩5分

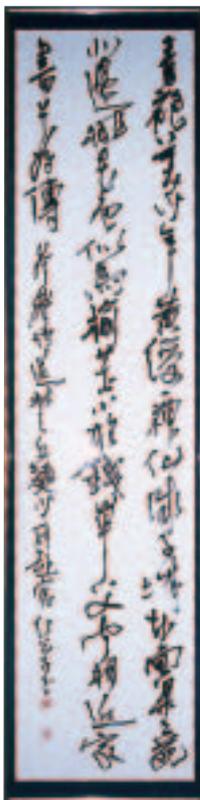
中23期生当番幹事一同、代表 坂本 長寿

本町から奨励賞3点、入選20点が選ばれました

第47回秋田県美術展覧会(県展)

県内最大の公募展である第47回県美術展覧会(県展=秋田魁新報社、秋田県、秋田県教育委員会、秋田市教育委員会主催)が、6月30日から7月6日まで秋田市のアトリオンで開かれました。

本町関係者では、彫刻部門に出点した戸田春美さん(美郷町六郷)、書道部門の高橋紀公子さん(美郷町本堂城回)、写真部門の高橋るり子さん(美郷町飯詰)の3人が特賞に次ぐ奨励賞に選ばれたほか、洋画、工芸、書道、写真、デザインの各部門で合わせて20人が入選しました。



▲書道部門で奨励賞を受賞した
高橋紀公子さんの作品
「岑參詩」(しんじんのし)



▲彫刻部門で奨励賞を受賞した
戸田春美さんの作品
「肩二ハ蝶」



▲写真部門で奨励賞を受賞した
高橋るり子さんの作品
「ないしょ話」

